

1 復旧の概要

県では、東日本大震災による被災状況を踏まえ、次の考え方で鹿折川災害復旧事業を進めてまいります。

- ①堤防の高さ：**T.P.+5.0m**（T.P.とは東京湾の海面の平均潮位のことを指します。）
（国から示された考え方を基に県が設定したもので、数十年～百数十年程度の頻度で発生する津波に耐えられる高さで復旧します。）
- ②復旧の範囲：**河口から国道45号までの約1,400mの区間**
（国道45号上流に一部原形復旧区間もあります。）
- ③堤防の幅：**20～30m**
- ④堤防の形：**盛土での堤防**を基本的な形とし、まちづくりの状況も踏まえて決定します。

2 測量調査について

鹿折川の復旧工事に先立ち、現地の測量調査を次のとおり実施いたします。

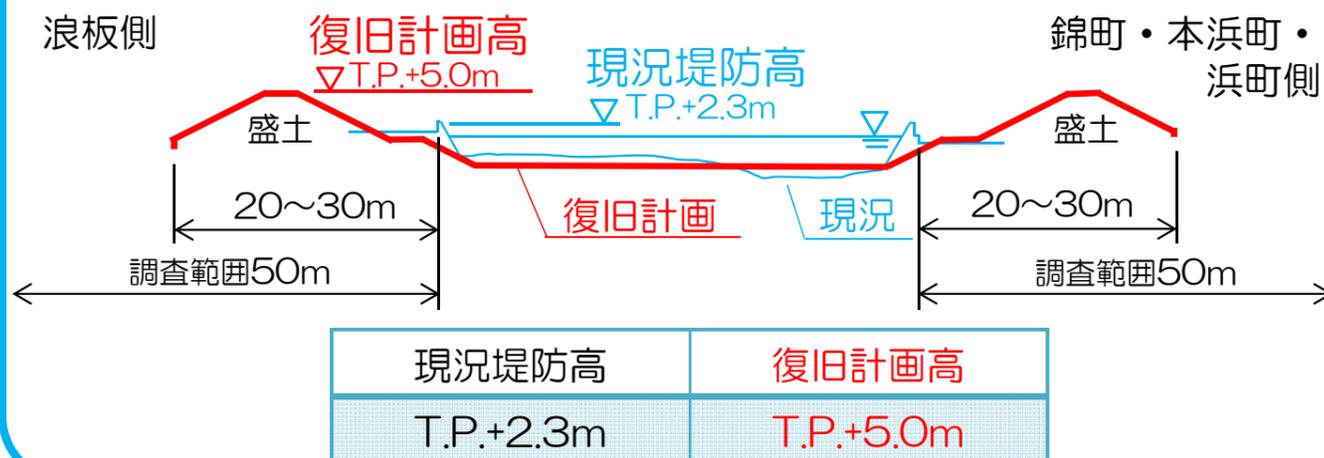
- ①調査範囲：**右図の赤の範囲**（片岸50m程度を想定しております。）
- ②調査期間：**平成24年4月から10月ごろまで**を予定しております。
- ③調査内容：**測量・地質調査（ボーリング）**
- ④調査者及び連絡先

- 宮城県気仙沼土木事務所 河川砂防第一班
担当者：千葉 0226-24-2564
- 調査設計会社：三井共同建設コンサルタント（株）
担当者：伊藤 022-225-1167
- 用地測量会社：（株）北水コンサルタント
担当者：斎藤 0220-22-2514

※調査員は身分証明書を携帯しております。
ボーリング調査の際は個別にご連絡いたします。

標準横断図

※上流側から下流を見ている図です。



3 今後のスケジュール

被災市街地復興推進地域内の復興事業の進捗状況によりスケジュールが変わる可能性があります。

	H24.4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H25年度	H26年度	H27年度	
地元説明会																
測量作業																
設計作業																
用地買収																
復旧工事																

